



サフラン便り

第58号 24年8月15日発行

発行：佐賀県薬剤師会女性薬部会
佐賀市本庄町大字本庄 1269-1
TEL:0952-23-8931 FAX:0952-23-8941
<http://www.sagayaku.or.jp/josei/index.html>

日本女性薬剤師会学術講演会 報告

日時：6月17日（日） 10：00～16：00

場所：星薬科大学 記念講堂

内容：～一緒に考えよう、生命の贈り物～ 誕生から再生まで

- ①新しい医療行政の展開 厚生労働省大臣官房審議官 平山佳伸先生
- ②生殖医療の現状と問題点 医療法人順和会山王病院院長 堤 治先生
- ③死を生に繋ぐ臓器移植 (社)日本臓器ネットワーク広報・普及啓発部 部長 雁瀬美佐先生
- ④我が国における臓器移植の現状と展望

大阪大学医学部大学院 重症臓器不全治療学寄附講座 教授 福嶋教偉先生



<日本女性薬剤師会総会・学術講演会に参加して>

鳥栖三養基支部 三橋博子

6月16、17日に、星薬科大学において日本女性薬剤師会総会及び学術講演会に出席させていただきました。正直、今まで、この会があることも詳しくは知らず、話が出てても他人事のように聞き流していた私。初めての東京♪ということもあり、わくわくドキドキの二日間でした。

参加要請をいただき早速、宮地先生のスピードについていけるようにエアクッション入りの靴を新調。朝早い福岡空港で「靴はなに履いてきた？(ちらっ)よし！歩けるね！今日は歩きまくるよ！」の第一声に小さくガッツをして先生の後ろをいそいそとついていきました。ところが、先生のスピードは半端なかった。先生の足と口・・・早い！早い！そして時折見せられる何事もなかったような穏やかな笑顔。私のワクワクと靴のエアクッションは早くも五反田に着く前にしぼみかけました。

無事、星薬科大学に着いて、その重厚な佇まい、都会の中心部なのに緑が多く、新しい物と古い物がうまく融合しているキャンパスにまず心を奪われました。大講堂の中で次に目を奪われたのは、近藤芳子会長の御姿。鮮やかな夕焼け色のスーツに身を包まれ、颯爽と歩かれる足取り。とても〇〇才には見えない・・・。次回お会いした時には、是非、その若さの秘訣をお尋ねしたい。そのチャンスと勇気が私にあれば。

日女の総会は、何事もなく無事終了し、今回最大の仕事、ポスター展示。「診療ガイドライン薬剤コース」への取り組みという題目で、サフランの花を背景にした美しいポスターに出来上がっていました。他県の先生方から、「今更聞けなかった事がわかりました。」と感心され、特にQ&A集は絶賛されました。

翌日の、学術講演会も刺激の多い1日でした。

行政の話から、生殖医療、またその数日前にニュースになった臓器移植による命のリレー。日頃、患者さんと話をするものの、身近には感じていなかった最先端医療に触れて、ぬるま湯に浸かっている自分を目の当たりにしました。

特に、生殖医療の講演をして下さった、山王病院の堤先生のお話は面白く、興味深い内容で時間が経つのを忘れてしまいそうでした。その堤先生に生涯学習の講師依頼をお願いした所、快くお引き受けいただきました。きっと受講される先生方もご満足いただけたと思います。

今回の2日間で得たものはとても大きく、今まで知らなくて損をしていたと痛感しました。昨日しぼみかけていたハートもやる気で満タンになりました。他の先生方にも是非経験して頂きたいと思いました。その為にも来年は、一人でも多くの先生方に情報を発信していきたいと思います。

追伸 学術講演会のテキストが薬剤師会にあります。皆様も是非手に取って感じていただければ幸いです。



＜乳児の哺育料並びに胃腸障害者の栄養食料として適合する理由＞

ボーデンス、モルテッド、ミルクの脂肪は人乳のそれに比較すれば少量であります。之は無意義に減少したものではありません。即ち学理に基づき実地の試練に依り、乳児の消化器に適合する程度に減少したものであります。この点は最も注意すべき重大な意義あるものであります。

前述のとおり、牛乳脂肪の分子は「大きく且つ重い」のが欠点であります。故に母乳の如く乳児の消化器に適合する程度に軽め、尚脂肪分子を微細に且つ脂肪の自己結合を起こさない様に精製してあります。この点は本品の価値ある所であり、普通の粉末牛乳の製法では脂肪分子を微細に且つ脂肪の自己結合を防ぐ事は不可能であります。何となれば、脂肪分子を微細にするも之を溶解すれば、脂肪は次第に自己結合して液の表面に浮遊してきます。又遠心器にて分析すれば直ちに脂肪は分離し結合するものであります。斯様な事では乳児の消化器内にて自己結合を起こし消化困難になるのであります。此の事は脂肪の分子を微細にしたる粉末牛乳も牛乳同様に消化困難な結果なるを見ても明らかであります。

(米國ボーデンス・ミルク會社 ボーデンス・モルテッド・ミルク日本部 總代理店 岡本商會版)

＜診療ガイドライン薬剤コース 前期スクーリングご案内＞

日時：平成24年9月2日(日) 9:00~14:40

場所：佐賀県薬剤師会館 2階 研修ホール

演題：①「甲状腺に関する疾患・治療(仮題)」独立行政法人国立病院機構 佐賀病院
内科 第二診療部長 江島 英理 先生(9:00~10:10)

②「リウマチ：早期診断と医療師の連携(仮題)」

佐賀大学医学部附属病院 膠原病・リウマチ内科 小荒田 秀一 先生(10:20~11:30)

③「小児呼吸器について(仮題)」佐賀大学医学部 地域支援学講座 小児救急総合部門

助教 荒木 則子 先生(11:40~12:50)

④「睡眠時無呼吸症候群：セルフケアの重要性(仮題)」

佐賀大学医学部附属病院 循環器内科 尾山 純一 先生(13:30~14:40)

※先の学術講演会にて発表しましたポスターを展示します。

スクーリング研修会の運営についてまとめたものです。是非ご覧下さい。



女性薬部会の広報活動

来る8月19日(日)に第4回佐賀県女性三師会が開催されます。その中で各会から何か発表しようということになり、医師、歯科医師の先生方への要望も込めて、「おくすりノート」の啓発をお話することにしました。

＜ミニレクチャー＞ 「おくすりノート」の活用について 広報部会長(佐賀支部女性薬委員) 田中須磨代

昨年の東日本大震災においてお薬ノートの活用により適切な医療提供がおこなわれたことで「お薬ノート」が大変評価され、今年の診療報酬改定において調剤基本料のなかに組み込まれました。各薬局ではお薬ノートへの記載、または貼れるようにして渡すことが必須となりました。しかし、まだまだ患者さん方は持って来てくれない方がたくさんいます。そこで、医師・歯科医師の先生方へお願いですが、診察のうちに「お薬ノートを見せてください。」と言っていただきたいのです。そうすることにより患者様は先生に見てもらえるからときちんとお薬ノートを整備し持ち歩いてもらえるようになると思います。また先生方も他の医療機関よりの併用薬のチェックができ相互作用・重複投与の防止にお役に立てるかと思えます。適切な患者様への医療の提供ができますよう是非ご協力願います。

＜ちょっと一言＞

突然、薬局のレセコンの画面が真っ黒になってしまいました。待合室は満席状態。手作業でなんとか熟せても、薬情や明細書領収証の発行が出来ず平謝り。それより電子薬歴の内容が確認できずあたふたしました。レセコンが復旧して酸欠状態から脱出できてホッとしたのですが、電気も空気と同じ存在である事に気付かされました。これが停電でエアコンも動かないと思ったら、ゾッとします。佐賀弁で言うところの『つーつらつー』と作業が進むのは電気のお陰。日頃感謝が足りない私もお陰様に感謝しました!(島田)